

2019 年度 中国留学報告書

留学先：北京師範大学
留学期間：8月26日～12月28日

新潟国際情報大学
国際学部国際文化学科
学籍番号：21018039
齋藤琴音

目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学の目的	3
4	留学内容	4
4 - 1	留学のスケジュール	4
4 - 2	留学の詳細	5
5	当初の目的及び目標への到達度・自己評価	6
6	反省・課題	6
	謝辞	7

付録

	留学日記	7
--	------	---

1 留学先及び実習期間

留学先：北京師範大学 漢語文化学院

留学期間：令和元年8月26日（月）～令和元年12月28日（土）

2 留学先概要

(1) 大学について

北京師範大学は中華人民共和国の北京市海淀区に位置する公立大学である。北京四大大学(他、北京大学、中華人民大学、清華大学)の一つに含まれ、中でも教育学の分野ではトップの実績を誇る。広大な敷地の中には教室棟や図書館、体育館、寮などの基本的な施設の他に、学内で生活するうえで欠かせない食堂やスーパーマーケットなどの設備も充実している。また、海外からの学生に対してのサポートが充実しており、多数の留学生を有するグローバルな大学である。

(2) 大学で行われている教育について

北京師範大学では留学生向けに「漢語文化学科」という学科を設けており、中国語力の上達に特化した授業を受けることが可能である。学期始まりに行われるクラス分けテストを基に自分のレベルに合ったクラスに配属され、約20人程度の少人数で授業を受ける。使用するテキストやCDなどはほぼすべて中国語のみが記載されており(若干の英語訳を含む)、授業の進行も中国語で行われる。授業を受けていく中で、希望があれば違うレベルのクラスに移動することも可能であるが、上級クラスに移動する場合はテストを受け一定の成績を獲得することが条件となっている。

3 留学目的

今回の留学の一番の目的は、中国語力の上達である。中国語のみがコミュニケーションの手段であるという環境に身を置くことで、良いプレッシャーを与えながらモチベーションを高めて中国語を勉強していけるのではないかと考えた。中国語を選択した当初からビジネスで自分の中国語力を活かせるレベルまで上達させるという目的を持っていたため、現地で生きた中国語に触れて「伝わる中国語」を習得することを目標とした。

もう一つの目的が、海外での生活を通して自分が持ってこなかった考えや文化を発見して理解することである。これまで日本という閉鎖的な空間で視野を狭くして生活してきたが、今回外国人と交流し、実際に一緒に生活することで、物事を多角的に考える力を養えるのではないかと考えた。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下の通りである。

月	日(曜日)	午前	午後
8	26(月)		北京到着、寮手続き
	27(火)	銀行口座手続き、携帯購入	
	28(水)	入学手続き	
	29(木)	クラス分けテスト	
	30(金)	留学生入学式	
9	2(月)	授業開始	
	14(土)		中日学生交流会
10	1(火)~7(月)	国慶節(休日)	
	3(木)	内モンゴル旅行 二泊三日 (希望者のみ)	
	4(金)		
	5(土)		
	31(木)	中間テスト	
11	1(金)	中間テスト	
	4(月)~8(金)	黄山文化考察	
12	1(日)	HSK4 級受験	
	23(月)	期末テスト	
	24(火)	期末テスト	
	27(金)		卒業式
	28(土)	帰国	

○週間スケジュール

曜日	1	2	3	4
	8:00-9:40	10:00-11:40	13:30-15:10	15:30-17:10
月		听了 Listening	会话 Speaking	辅导 Tutorial
火	听了 Listening	读写 Reading		
水	会话 Speaking	读写 Reading		
木			会话 Speaking	读写 Reading
金		听了 Listening		

4-2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下の通りである。

① クラス分けテスト

北京到着後の数日後に行われる授業のクラス分けテスト。内容はリスニング、筆記、口頭試験の三種類で、そのテストの結果に基づいてクラスが割り振られる。留学生向けではあるものの難易度は高め。口頭試験は自分一人に対して面接官 2 名(北京師範大学の先生方)で行われ、一人当たり 10 分程度、中国語のみで行われる。

② 授業

各クラスは 20 人程度で授業を進める。授業内容は主にリーディング、スピーキング、リスニングの授業があり、クラスごとに担当の先生や時間割は異なる。その他にも自習の時間や中華才芸(書道、切り絵、茶道、太極拳)といった授業がある。

③ 中日学生交流会

北京師範大学の日本語学科の学生たちと交流する。互いに準備してきた催し物を披露し、実際に会話してコミュニケーションを取った。その際に留学生活で役に立つ知識を教えもらえる(ご飯が美味しいお店、便利なアプリや情報など)。

④ 内モンゴル旅行

希望者が内モンゴル旅行に参加する。

⑤ 国慶節(国庆节)

中華人民共和国の国立記念日。1 日にはテレビで天安門広場でのパレードが中継放送される。この間大学の授業は休みで、街の店なども休業するところが多い。

⑥ 中間テスト

二日間に分けて行われる最初の授業内容確認テスト。テスト前一週間から授業内でテスト範囲の復習をしてくれるので安心して臨める。

⑦ 黄山文化考察

寝台列車に乗って安徽省の黄山地域へ文化研修に向かう。同じ班のメンバーは外国人のクラスメイトや中国人がほとんどであるため、友達作りや中国語上達の良い機会になる。世界自然遺産に登録されている黄山を登ったり、現地の中学校を訪問したりする。短期間で黄山周辺の沢山の歴史的な名所を見て回れるので、北京とはまた違った中国の文化を体感することができる。

⑧ 期末テスト

内容は中間テストとほぼ変わらない。授業内で習った範囲の確認テスト。

⑨ 卒業式

証書や四か月間の総合成績をもらう。クラスメイトやお世話になった先生方に会える最後の機会なので、集合写真を撮ったり挨拶をしたりして回った。

5 当初の目的及び目標への到達度・自己評価

・中国語力の上達

授業がすべて中国語を用いて行われたこともあり、リスニング力がかなり上達したように感じた。授業の中で出てきた分からない単語や言い回しは先生に質問したり調べたりすることで理解することができたし、授業の休み時間にクラスメイトや先生と中国語で雑談をして楽しむこともできた。授業中に発言する機会がある際は積極的に参加できたし、授業貢献度的には満足のいくものであった。日々生活していく中で一日に一度は必ず中国人と会話をする機会があったという点もスキル上達につながったと思う。

・異文化理解、視野を広げる

ルームメイトがイギリス人であったため、お互いの国の文化交流を頻繁に行った。食文化やトレンドなどの他にも、これまで考えたことのなかった宗教的な問題や国際問題についてもルームメイトと二人で時間をかけて意見交換をする場面があった。そこで改めて、これまで自分がいかに世界に関心を持っていなかったか、自分の意見を持っていなかったかに気付かされてショックを受けた瞬間が多々あった。

また、授業内で「中国人から見た外国」という話題で先生からお話をしていただく機会がたくさんあり、新しい視点からの母国や外国を理解するきっかけになった。

6 反省・課題

反省する点としては、もっと積極的に中国人や外国人の友達を作って交流するべきであったと思った。休日に日本人だけで観光名所に行ったりご飯を食べに行ったりすることが多く、外国人と一緒にプライベートで遊びに行く機会が少なかったように感じる。今後こういった海外で日本人以外と関わる機会があれば、自分から積極的に声をかけて交流の幅を広げたい。

謝辞

今回の留学において、北京師範大学漢語文化学院で熱心に指導をしてくださった先生方、現地で生活するにあたって沢山の場面でお世話をして下さった副班主任の羅穎さん、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の中国派遣留学担当で事前指導から現地での指導、帰国後の各種指導まで手厚くサポートして下さった區建英先生、佐藤若菜先生、学務課の方々にも感謝申し上げます。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、中国派遣留学への参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

付録：留学日誌

8月26日（月）午後
出発 14:05 新潟空港
内容 ・新潟空港で先生と合流 ・新潟空港から成田空港まで移動 ・成田空港で乗り換えし、北京空港まで移動 ・北京空港にて入国審査 ・空港からバスで大学の寮まで移動、寮の入室手続き

所感

長時間の移動により身体に疲労がたまっていたが、初めての中国生活に期待が高まった。寮まで移動する間、バスの運転の荒さや交通ルールの日本との違いに驚いた。

8月27日（火）
銀行口座手続き、携帯購入
内容 ・中国銀行にて銀行口座の開設 ・大学内の携帯ショップにて現地で使うスマートフォンを購入

所感

一人ひとり登録に時間がかかる作業であったので、全員が緊張感を持ち協力して臨んだ。先生と副班主任が手分けをしてサポートをして下さったため、学校が始まるまでには全員銀行口座とスマートフォンを使える状態になった。問題が起きた際も現地の方々が一緒に手伝ってくれたため、中国人のやさしさと温かさを感じた瞬間でもあった。

8月29日(木)

クラス分けテスト

内容

- ・リスニング、筆記のペーパーテストを受ける
- ・終わった人から各自口述試験を受けに行く
- ・時間はすべて合わせて約二時間程度

所感

中国に来て初めてのテストだったが、全て中国語で説明を受けたので焦りを感じた。ペーパーテストでは分からない単語が多く、口述試験でも緊張が相まって基本的な受け答えしかできず、後悔の残る結果となった。だが、この経験はこれからの中国語の勉強に対する意欲が沸ききっかけとなった。



(读写クラスの集合写真)

11月4日(月) ～ 8日(金)
黄山文化考察
<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北京を離れ、安徽省の黄山地域へ <p>1日目：胡氏宗祠観覧、宣紙会社訪問、京劇観覧</p> <p>2日目：中学校訪問、墨工場見学</p> <p>3日目：黄山登山</p> <p>4日目：糕餅工場見学、文化博物館訪問</p> <p>5日目：古城観覧</p>

所感

人生で初めて火车を利用したが、片道約19時間も乗り続けていたため、移動だけで疲労感
 じた。短い期間で沢山の名所を回ることができ、北京とは一味違った中国文化を感じるこ
 とができた。班のメンバーは中国人と同じクラスの外国人たちで構成されていたので、交流を
 深めることができたし、何よりも自分の中国語力が向上したことを実感できた。滞在したホ
 テルの近くに風情のある老街があり、ホテルに戻ってから皆で買い物に出かけたりして良
 い思い出になった。



(中学校を訪問した際の写真)



(黄山登山前のロープウェイ搭乗時の写真)

12月1日 (月)
HSK4 級受験
内容 ・中国人民大学にて HSK4 級を受験 ・リスニング、筆記(マークシート式と記述どちらも有り)のテスト

所感

初めて受験した HSK の試験だったので緊張感をもって臨んだ。テストでは、事前に過去問で練習を重ねていたので自信を持って回答することができた。



(前門の写真)



(夜の天安門の写真)